

「シェーグレン症候群手記」匿名希望 67歳

2013年8月25日

数年前から30分ほど会話をしていると口が渴いたり、時々目がチカチカして痛かったりしたのですが、

目薬をさすぐらいであまり気にもしていませんでした。ところが、2011年9月頃に顔が赤く腫れ粟粒のような吹き出物が、鼻周辺以外の顔全部に出来たのです。すぐに掛かり付けのクリニックで血液検査をして頂いたのですが、結果が思わしくなかった様で、精密検査の出来る大病院を紹介して下さいました。それまでネット等で症状や病院について調べていたので、すぐにステロイドでの治療が頭をよぎりました。ステロイドは使いたくなかった（副作用が大きく根治できる薬ではない）ので、ネットで知ってかねてより診て頂こうと思っていた松本医院に電話をしました。電話で松本先生に経緯をお話ししたら「大病院には行かなくていいからすぐにいらっしゃい」とのお言葉で、翌日松本医院に出向きました。

H23年9月初診日、松本先生は診療中にもひっきりなしにかかる電話での対応をされていました。その間、先生のお話を聞かせて頂いていましたが、遠方の患者さんからの電話も多く、日本中に松本医院の患者さんがいらっしゃるのを感じました。その日は、血液検査と尿検査を受け煎じ薬と赤と黄色の軟膏、お風呂用薬草を頂いて帰りました。

H23年9月（初診日）の血液検査

血沈	:	35
抗SSA/RO抗体	:	240
抗SSB/LA抗体	:	320
IgG	:	2075
RF	:	27
ZTT	:	17.4
CRP	:	0.05以下

H24年1月

目の周りが赤く腫れたり痒みがあり、顔に粟粒のようなものが出来たり、喉仏のあたりが赤くなったり等の症状が出たり消えたりしている。また、この頃から手の指に数個の発疹が現われる。

血沈	:	42
抗SSA/RO抗体	:	240
抗SSB/LA抗体	:	18

抗核抗体	:	320
I g G	:	1709
R F	:	19
Z T T	:	14.6
C R P	:	0.05 以下

H24年5月

目の周りの腫れは無くなったが、その他の症状に変化なし。

血沈	:	20
抗SSA/RO抗体	:	240
抗SSB/LA抗体	:	12
抗核抗体	:	320
I g G	:	1591
R F	:	17
Z T T	:	13.9
C R P	:	0.05 以下

H24年10月

目の周りがまた赤く腫れるようになり、食前の煎じ薬が変わる。
2~3日すると顔や首、頭まで痒くなり、日増しに症状が強くなる。
先生の診断でクラススイッチしたようである。

血沈	:	12
抗SSA/RO抗体	:	240
抗SSB/LA抗体	:	9
抗核抗体	:	160
Z T T	:	13.7
C R P	:	0.05 以下

H25年1月

H24年10月頃から夜トイレの回数が増えてきたため、ウリトス錠（排尿障害治療薬）が処方される。

H25年2月

突然の激しいめまいと吐き気に襲われたため、最寄りの耳鼻科にて治療を受ける。突発性良性頭位めまい症と診断される。2週間程で症状が軽減。ウリトス錠を止める。
その後、いつもは低血圧にもかかわらず血圧が140~150になり脈拍も110以上の日が続いた為、粉薬を飲むのを止める。

H25年7月

ひどい痒みは無くなったが、首に広範囲の白斑が出来たため薬が変わる。

血沈	:	16
抗SSA/RO抗体	:	240
抗SSB/LA抗体	:	160
ZTT	:	12.7
CRP	:	0,05以下

現在、白斑以外の様々な症状は現われることもなく、口の渴きも以前ほど気にならなくなりました。

ストレスやステロイドのような化学物質を取り込んだ為、このような病気（シェーグレン症候群）に罹ってしまいましたが、

松本先生の“自分の免疫が病気を治す”のお言葉の通り、ステロイドを使わず漢方によって免疫を上げる治療をして頂いた結果と感謝して居ります。まだ、完治には至って居りませんので、今後とも宜しくお願い致します。